

警 察 署 協 議 会 会 議 録

小郡警察署協議会

開催年月日時	令和5年12月6日 午後4時00分から 令和5年12月6日 午後5時00分まで	
開催場所	小郡警察署 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下7名
	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、刑事課長 生活安全課長、交通課長、地域課長、警備課長
議 事 概 要		
【被疑者制圧訓練視察】 ～ 通報を受け現場臨場した警察官2名が、日本刀を振り回す男を制圧する訓練状況を視察 【会長挨拶】 ○ 初頭から、迫力ある実演を見せていただき、日ごろから警察の皆様方が、鍛錬されているということが実感でき、心強く感じている。 ○ 本日は、お忙しい中お集まりいただき、実りある会になればと思っていますので、よろしくお願いします。 【署長挨拶】 ○ いつも警察の活動に対して、協力とご理解をいただいていること、お忙しい中集まっていただいたことに感謝申し上げます。 【管内情勢説明】（署長） 1 刑法犯認知件数 ～ 認知件数は増加傾向となったが、地域住民が高い防犯意識を持ち、管内の防犯パトロールを行う「ついで隊」という取り組みが評価され、内閣総理大臣賞を受賞している。 2 児童虐待関係 ～ 通告児童数は年々増加傾向であるが、同通告がしっかりなされていることが重要であり、児童虐待事案への迅速・適格な対応、児童相談所の緊密な連携をとっている。 3 交通事故関係 ～ 事故は前年同期比微増、事故の原因は徐行・一時不停止違反が15%（県内平均2.4%）と高い比率となっている。 4 飲酒運転の撲滅 ～ 夜間の職務質問・検問を強化し、飲酒運転の検挙件数が増加している。		

議 事 概 要

5 ニセ電話詐欺

～ 認知件数・被害総額が増加、まっ太フォン（録音・警告機能付き電話）225台を無償設置するなど、被害防止策を推進している。

6 暴力団の壊滅に向けた活動の推進

～ 管内に暴力団事務所の設置なし、小郡市・大刀洗町発注の公共工事からの暴力団排除に関する要綱制定、繁華街に対する暴排ローラーを実施している。

【質疑応答】

○ 委員から「ニセ電話、インターネット、迷惑メール等を介した、非接触型の犯罪がはびこっており、土地柄、お年寄りが多いことからどうにかならないか」との質疑に対し、署長から「犯人は無作為に標的を探して犯行を行っていることから、あらゆる機会を通じて、繰り返しの注意喚起を行っていく。また、各地域の会合等で情報発信を行い、地域住民の間で、口コミとして情報共有していただき、防犯意識が高めていただきたい」旨回答があった。

○ 委員から、「議会において、防犯カメラ設置についての議論がなされているが、設置する意義はどのように考えているか」との質疑に対し、署長から「防犯カメラが犯罪の予防・検挙に役立つことは論を待たないところである。小郡市は防犯カメラでカバーできない抜け道が多く、いざ犯罪が発生した場合に対応が遅れる可能性があるため、主要地点に防犯カメラを設置することは重要と考えている。ロータリークラブや議会等においても、その必要性を訴えている」旨回答があった。

【閉会】

以上で、令和5年度第3回小郡警察署協議会を閉会する。